

～「一生懸命・一緒懸命」が
人の心を動かす～



2月21日（金）に行われた6年生を送る会は、今年も多くの場面で見ると人の心を動かす感動的なものとなりました。今年度も、一人一人の活躍の場を増やし、顔と顔を合わせてより身近な空間で感謝の気持ちを伝えるという目的から、ふれあい班による第一部と、全校一斉の第二部の二部制で実施しました。

第一部. 6年生にたくさん助けてもらったことを替え歌にして歌う1年生。6年生が中心となって活躍してくれた委員会活動を劇にして感謝を伝えた2年生。一人一人の好きなものや頑張りたいことをクイズで紹介した3年生。掃除や下学年への声掛けなど日常の6年生のすてきなところをしっかりと見て劇にした4年生。その年の社会の出来事を交えながら6年間の思い出を紙芝居で表現した5年生。

第二部. 在校生による全校合唱「変わらないもの」は、体育館に響き渡る感謝の歌声となりました。その気持ちに応えるべく、6年生からは合唱、合奏の発表がありました。真剣な表情、機敏な動き、心を一つに演奏する姿は、在校生にとってやはり「あこがれ」の存在でした。

一人一人が自分の精一杯を見せる姿、皆で一緒に作りあげる姿に、人は心を動かします。そして、頑張ったことが自信となって成長していきます。このような教育活動を今後も、保護者の皆様、地域の皆様と進めていけたらと思います。

令和6年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には1年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。今後も子供たちが安心、安全に学校生活を送ることができるように努めて参ります。引き続きご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長